

平成12年11月30日
発行 新潟国際情報大学



国際情報

INTERNATIONAL & INFORMATION

新潟国際情報大学広報 第10号

〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nuiis.ac.jp URL http://www.nuiis.ac.jp

学習指導委員会の活動について

学習指導委員長 赤木 敏子



学習指導委員会の主な活動は、本学に入学した学生が、

国際化・情報化社会のリーダーとして活躍するための知識と教養を身につけ、最低4年間在籍することにより、卒業要件を満たす単位数を修得して卒業出来るよう作成されたカリキュラムを開講して学生の学習環境を整えることと、学生に対して年度初めに履修ガイドansonを実施したり、学生の単位修得状況によっては、学習上の指導を行うことです。

いすれの大学にも、学生がその大学で教育を受けるための基本的なルールを定めた「学則」があります。その「学則」に記載されていない細かいルールを定めたものを、「本学では履修要項」と称しています。「履修要項」には、学部・学科の教育のねらいや各学科のカリキュラム、さらに卒業するまでに必ず履修して単位を修得しなければならない科目(必修科目)や学生が自主的に選択して履修出来る科目(選択科目)の配当学年をはじめ、進級条件・卒業条件などを詳細に説明してあります。

学習指導委員会では、9月下旬になると翌年度の「履修要項」の見直しを始めます。最初に、各学科で検討された内容をもとに、開講する科目とその科目の担当教員を確定します。いすれの大学も事情は同じですがすべての科目を専任教員だけでは開講できません。年間開講する科目の1/4前後の科目は非常勤講師の方々に協力していただき開講しております。非常勤講師の方々にも、事情があり、今年度担当して下さった方に翌年度もお願いできるとは限りません。科目担当教員が全員確定するには2~3ヶ月掛かります。その後、担当教員から提出していただいた講義概要を編集すると同時に、時間表を作成します。

通常ですと、これで新年度を迎える準備が整ったことになるのですが、2000年度に入学した学生からは新しいカリキュラムが適用されています。このカリキュラムにはその国の言語を学び、異文化を理解し、実験出来る留学制度が導入されました。すなわち、情報文化学科では極東国立総合大学(ロシア)、北京師範大学(中国)、慶熙大学(韓国)と提携し、2年次後期にこれらの大学に5ヶ月留学しても在学期間が4年で卒業出来るようにしました。ただし、英語圏については、

ノースエスト・ミズーリ州立大学(アメリカ)と提携し、

2年次夏期休暇中に5~6週間留学出来るようにしました。また、情報システム学科では情報化が進んでいた北米社会を実体験し、英語による「ミニニケーション」能力を高めるため、アルバータ大学(カナダ)へ2年次夏期休暇中に4~5週間留学出来る制度を設けました。このため、学習指導委員会では、これらの留学先の大学で開設される科目を履修し修得した単位を、本学のどの科目の修得単位として認定するのが妥当であるか、さらに単位を認定する条件など、留学に関するルールを新年度に向けて検討しております。

このように学習環境をいくら整えても、在学期数の割に修得単位数の少ない学生が毎年数名あります。大学では高校までの学習とは異なり、自主的な学習意欲と自己の責任において単位を修得しなければならないのに、アルバイトに精を出し過ぎて出席日数がたりずに定期試験の受験資格を失う学生や、勉学目標を失う学生もあります。大半の学生は卒業に必要な単位数を4年間で修得して卒業します。私は、ただ単に卒業要件を満たす単位数を修得するだけでなく、在学中に他人を思いやる心温かい人間性を育み、社会のリーダーとして活躍する知識と判断力、行動力を身に付けて欲しいと願っております。

なお、学習指導委員会の活動は、事務局学務課教務係の協力のもとに行われている事を付記いたします。



学外実習記

情報システムが 実社会でどのように 生かされているのかを体験！

実習を終えて…

情報システム学科 3年 須川 素子

実習先 博進堂

毎年、恒例となつたこのインターンシップ。地域社会や産業界との積極的な交流を推進する新潟国際情報大学情報システム学科ならではの制度です。今年は、約60名の学生が参加。3年次の夏期休暇を活用して、民間企業や団体、事業所等で学外実習（インターナーシップ）を行いました。在学中に企業の内側を見つめるということは、これから実社会へ羽ばたく彼らにとって本当に貴重な体験です。就職先など今後の進路を決定する上でも役立つでしょう。参加者一人ひとり、実習先の業種や実習目的は異なりますが、現場の厳しさを身をもつて感じたことで、働く意識や責任感、自立心を養い、本当に有意義な実習となりました。

実習を通して見た事、得た事と全体の感想

実習先 東芝アドバンストシステム
情報システム学科 3年 相羽 啓之

今回、私は東芝アドバンストシステムへ実習にいました。そして、その中で配属された部署は通称「S3」と呼ばれる、官公省庁系へWebアプリケーションを開発している所です。

私がそこで実習したことは、普段この課が受けていた仕事の流れを模擬的に行うといったものです。顧客との対話からいり（これは担当主査が顧客だと見立てて簡易的に行いました）作業書（画面書／行程書／テスト行程仕様書）の作成をしました。私はあまりスマップ数の多いC言語を組んだことがなかったので、作業書などは書いたこと（書こうと思ったことがなくどの程度詳しく書くのかなどがわからず、手直しを何度もしました。そして、その後開発を行い、実習の大半の時間は開発にさきました。結局、実習内容は企業に行かなくてもできるようC言語プログラミングになってしまいました。

1. まとまった時間をもったという点
普段、C言語などにはふれますが長い時間ずっとこのことを考えたり悩んだりしたことはなかったので改めて、感じたこともあります。
2. 現実を知ったという点
現場の雰囲気、また仕事の内容の現実を感じました。それは、私にとって少し落胆するものでしたが、優秀な方（と）私が話をしてみて思った（人）と話ができる点

企業の線を走っている方やそれなりの地位にいるとの会話はとても有意義でした。主に以上の3点です。いろいろ不満はあったけど、学外実習に参加したことは良かったと思います。

実習に参加して

実習先 第四銀行
情報システム学科 3年 和田 直子

実習を終えて、私が今まで銀行に抱いていたイメージと、実際の銀行の仕事内容の幅広さが全く違っていたことが分かりました。本店では、たくさんの所を見学しました。最新式ATMでは、入ってきたお金を熱処理で殺菌してから出したり、利用者の画面にタッチする早さに合わせて処理時間が変わらなど、優れた機能に驚きました。リスク管理や、EBについてなど、興味深いお話を聞くことができました。

事務センターでは、1台5億円のコンピュータが4台稼働しているそうで、金額にも驚きました。信頼性のためには、それ程かかるのだと納得しました。また、銀行の大衆化や、ネットワークの拡大などの話を聞いてきました。オンラインがない昔とは違い、現在の便利さを実感しました。実習は3日間でしたが、1日ごとの内容がとても充実していて、大変勉強になりました。

全体の結論・感想

実習先 BSNアイネット
情報システム学科 3年 小林 邦範

この学外実習を通して、社会とはどういったものなのか、その仕事はどんなものなのか、いつもの学ぶ事が出来良かつたと思う。実際に社会に入つて見ると、自分が思っていた以上に、社員が皆黙々と仕事をこなしているので、正直驚いた。自分自信もいいかけんには出来ないなど心に思つた。

仕事の方は同じ作業の繰り返しというものが多べ、正直いつ飽きてくる部分もあつたけど、担当者の方から、仕事とはこんなもので、そうそう楽しい仕事ばかりではないよと言われるほど、そだなと改めて納得した。自分としては、一番興味を持ったのがHP作成で、HPについて詳しい所までは知らなかつたので、非常に勉強になつた。また社会人としての礼儀・会話など基本的なことも学ぶことが出来、こちらの質問にも社員の方が親切に答えてくれてとても良い経験になつたと思つた。



新潟商工会議所会報にも紹介されました



新潟商工会議所にて



三菱電機ビジネスシステムにて

Niigata University of International Studies OPEN CAMPUS

オープンキャンパス2000レポート

新潟国際情報大学では、今年も『オープンキャンパス』を開催しました。1回目・2回目とも好評で、計280名の高校生・父母が参加。中には入試の最新情報を得ようと、2回とも参加した人もいたようです。

大学という未知の環境に、さすがに1限目はガチガチだった参加者も、学食の試食を兼ねた昼食タイムで緊張もほぐれたのか、2・3・4限の模擬講義及びインターネットの体験実習(希望選択)では、時折笑いが起こるなどリラックスした雰囲気。自ら質問をするなど、積極的に取り組んでいる参加者の真剣なまなざしが印象的でした。なお、参加者は自分自身のホームページも作成しました。

また在学生との懇談コーナーや個別の入試・進学相談コーナーにも多くの高校生が集まりました。



<第1回> 平成12年7月22日 11:00~16:20 2、3、4限は希望により選択できます。

時限	時間	内 容			備 考
	10:30~11:00	受付			
	11:00~11:10	学部長挨拶 情報文化学部長 榎木 公一			
	11:10~11:40	大学案内・日程説明 広報委員長 高木 義和			
第1限	11:40~11:55	入試情報説明 入試実施委員長 市川 照久			
	11:55~12:40	入試問題の傾向と対策 (国語・数学・英語)			
	12:40~13:30	昼 食(学生食堂「弥彦」試食)・休憩			
第2限	13:30~14:20	講 義 「戦争を考える 国際研究への誘い」 情報文化学科 佐々木 寛 240教室	実 習 「インターネット入門」「CG、グラフ作成入門」「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	個別相談 入試進学相談(2F喫茶) 学友会 在学生に対する質問・懇談(221教室)	
第3限	14:30~15:20	講 義 「文系・理系を超えて情報系」 情報システム学科 杉野 隆 240教室	実 習 「インターネット入門」「CG、グラフ作成入門」「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	実 習 「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクターD.ジェフリー・M.ワーウィック	
第4限	15:30~16:20	講 義 「青年男女の隠れ肥満の実態とその解消法」 情報システム学科 藤瀬 武彦 体育館棟A・トレーニング室	実 習 「インターネット入門」「CG、グラフ作成入門」「ホームページを作ろう」 情報センター棟 マルチメディア実習室	実 習 「Communicative English Programの体験」 情報文化学科 CEPインストラクターD.ジェフリー・M.ワーウィック	

終了後アンケート回収

オープンキャンパスWEEK



『オープンキャンパス』の模擬講義とは一味違った体験ができるのが、『オープンキャンパスWEEK』。これは、新潟国際情報大で実際に行われている講義を高校生の皆さんに聴講・見学してもらうという企画です。

今年は10月20日から26日までの一週間、大学生と一緒にさまざまな内容の講義を受けてもらうことで、キャンパスの雰囲気や大学生活を実体験。20名の参加者は、「90分授業は初めて」「大学って面白い」「貴重な時間を過ごせた」と口を揃えていました。

10/20 Fri

1時限(佐々木)	外交と情報
2時限(広瀬)	朝鮮文化論2
3時限(松崎)	生活統計
4時限(榎木)	コンピュータソフトウェア
(プラーソル)	ロシア文化論2

10/24 Tue

1時限(河原)	アルゴリズム
2時限(高木)	情報論
3時限(杉野)	科学と技術
4時限(渡辺)	シミュレーション
(竹並)	情報システム開発

10/21 Sat

1時限	情報システム特論(市川)
-----	----------------

10/25 Wed

2時限(市川)	情報産業
(熊谷)	国際社会と法

10/23 Mon

1時限(小宮山)	生産企画と管理
2時限(蔡)	日中コミュニケーション論2
3時限(永井)	コンピュータシステム
(正田)	マーケティング

10/26 Thu

1時限(高橋)	現代東南アジア論
2時限(原口)	情報化と発展途上国
(佐々木)	国際組織
3時限(越智)	アメリカ史概説
(安藤)	国際経済論
(広瀬)	日朝コミュニケーション論2
4時限(広瀬)	コリア語

海外留学制度

新潟国際情報大学では、異文化に直接ふれ、大学での授業の成果を確かめ、その後の目標を定める足がかりとなるよう、海外留学制度を整えました。

この制度の大きな特徴は、留学先で取得した単位を卒業に必要な単位として認め、一定期間留学しても4年間で卒業を可能にしたこと。さらに留学生には、定額の奨学金が授与され、負担の軽減がかなっています。

今年は中国と北米へ新潟国際情報大学から世界へ多くの学生が国際人の一員として飛び立つ行きました。

「情報文化学科」

情報文化学科では、二年後期のカリキュラムに、希望学生を対象にした海外留学制度を組み入れています。5ヶ月留学して4年間で卒業できる「派遣留学制度」は、中国・北京師範大学歴史学部と情報文化学科がこの春、交流協定を結んで実現したもので、この春、交換組みとなった今回、参加者は三、四年生を含む30人（内訳は、四年3人、三年6人、一年21人）で、来年1月までの約5ヶ月間、中国の歴史や文化、言葉を学ぶことができます。



と海外四大学が用意され、一年次に専門科目として選択した言語にしたがって留学先を決定します。外國語は現地で学ぶのが一番です。一定期間実際に生活することで、その国の歴史や文化に対する認識も深まります。情報文化学科では、できるだけ大勢の学生に留学してほしいと考えています。海外での体験一つひとつが、学生たちの未来にとって貴重な財産となるからです。

「情報システム学科」

授業時間表の一例(北京師範大学 歴史学部)

授業時間表の一例(北京師範大学 歴史学部)							
上午(午前)				下午(午後)			
第1節 8:00 ↓ 8:50	第2節 9:00 ↓ 9:50	第3節 10:00 ↓ 10:50	第4節 11:00 ↓ 11:50	第5節 2:00 ↓ 2:50	第6節 3:00 ↓ 3:50	夜 4:00~	夜
中国語会話		中国語聴力		中国現代化研究		課外クラブ活動	予習復習補習
						洗濯等	学生交流
中国語閲覧		中国語写作		中国古代文明			

情報システム学科では、8/21～9/18の4週間、20名の学生が、カナダのアルバータ州の州都エドモントンにあるアルバータ州立大学で海外留学「夏期セミナー」に参加しました。英語研修は、「ESL英語教育プログラム」に基づいた完成度の高い内容で、10名の少人数クラスに分かれ、毎日午前中に4時間の授業が行われました。

一方、専門科目の授業では、ベンチャーカンパニー企業を訪問するなど、インターネットを利用して最先端の技術や事業動向を学ぶことができました。両科目とも現地での受講実績とセミナー終了後に提出するレポートで正規の単位を取得できます。

また現地の学生といろいろな話題について意見交換するカンバセーションクラブやホームステイなどもあり、日本とは異なる生活習慣や文化を実体験。帰国後のアンケートでは、参加者のすべてが英語のコミュニケーション能力が向上したと答えています。



授業時間表の一例(アルバータ州立大学)

8:00 ~ 12:00	14:00 ~ 16:00	19:30 ~ 21:00
英語クラス	—	カンパセーションクラブ
英語クラス	北米社会と情報	カンパセーションクラブ
英語クラス	北米社会と情報	—

詳しくは <http://www.nuis.ac.jp/> で、御覧下さい。

海外留学体験記

カナダ アルバータ州立大学にて

情報システム学科 2年 神田 咲子

情報システム学科 3年 清野 裕也

英語のクラスは毎日4時間づつ週4回行われました。私はイーマンのクラスでした。

イーマンはいつもクラスを盛り上げてくれて、笑いが絶えない授業で楽しく英語を勉強することができました。授業中ゲームをやって優勝者にプレゼントをくれたり、鈴木さんとさやさんの誕生日にはケーキを焼いてきてくれて、みんなでお祝いもしました。この海外研修のもう一つの目的は、ベンチャーカンパニー企業を訪問し、「コンピュータシステムに関する説明を受ける」というものでした。私のカナダに行く目的は、語学力を上げることだったので、えーっ。そんなの勉強しなくていいよーっ! とすっと思っていました。初めのころは、日常会話でさえ聞き取るのに苦労していたので、専門用語の多い「lecture」は絶好の寝覚めの時間でした。しかし「週間」二週間と英語に触れる時間が積み重なっていくにつれ、少しつつ理解できるようになってくると、当初ほんとにできなかつた質問がみんなからどんどん出てくるようになっていました。「discussion」を行ったことで、自分の英語の理解力を試すことができ、専門的な用語を知ることができ、もちろんコンピュータシステムについての勉強にもなりました。

カナダ研修は勉強だけでなくいろいろなイベントがありました。カヌーを漕いだり、ロッキー山脈に登ったり。決められた行事以外にも高木杯というバーの試合もしました。とにかく年齢に関係なく、先生・生徒関係なく、みんな仲良く楽しい研修でした。研修だったので時間的制約は大きかったけれど、それでもみな十分楽しめた研修旅行だったと思います。

私にとってこの旅は初めての海外経験だったので、勉強になることはたくさんあり、今挙げたのはほんの一部分に過ぎません。これからはそれら学んだことを生かしてこの旅をもう一つ価値のある旅にしていきたいと思います。



第7回

KOSHOSAI

2000

年式

MAIN EVENT

なんと教室がCLUBになっちゃった!?

SPECIAL GUEST
DJ SHINKAWA

現在、日本で最も注目を集めているDJが国際情報大に! 有名CLUBなどのレジデントレギュラーブレイブに加え、最近では海外での活躍も目立つDJ SHINKAWAによる29日

の屋外イベントは、昼過ぎからあいにくの雨模様となり、残念ながら屋内での開催となりましたが、会場の教室は想像以上にヒートアップ。ハウス・テクノ・ワープといったジャンルを独自の表現方法で自由に操る彼のサウンドに、その場にいた誰もがHAPPINESSを共有し、大いに盛り上りました。



模擬店



中国語劇『三国志演儀』



フリーマーケット



アームレスリング大会



お茶会



ベンチプレス大会



体験メイク



演奏会



野菜の販売

~新風を吹き込め、そして伝統へ~

新潟国際情報大学学園祭

7回目となった今回の紅翔祭は、『新風を吹き込め、そして伝統へ』というテーマのもとに、10月28日・29日の2日間にわたって開催。父母会や地元の赤塚からも大勢の方々にご来場いただき、大盛況となりました。年々新しい試みに着手し、今年は目玉となるイベントも盛りだくさん。これも、学生自らの手による運営が定着化してきた結果といえるでしょう。

MAIN EVENT

走ってみようかな、と思った人も多いはず!

谷川真理さん 講演会

~『谷川真理』の抓力~

29日の講演会は、1991年東京国際女子マラソンで初優勝、1994年4月のパリ国際マラソンで2時間27分55秒という自己ベスト記録(優勝)したトップランナー。



谷川真理さんがゲスト。現在タレントとしても活躍中で知名度抜群ということから、人気が高く、会場は満員御礼。『市民ランナーの星』と讃えられ、大きな大会だけでなく地方のマラソン大会にも数多く参加している谷川さんならではのエピソード、走ることの楽しさ、マラソンのすばらしさをお話していただきました。

MAIN EVENT

日本でアフリカ人が初めて作った劇映画

ひ『車に轢かれた犬』(映画)



モリ・トラオレ監督 講演会~
モリ・トラオレ監督作品『車に轢かれた犬』は、二十年前京都で制作されました。この映画は、監督と同じように来日して京都に住んでいたあるアフリカ人の実話をもとに作られたものです。28日の午後の上映の後では、モリ・トラオレ監督の講演会も行われ、この映画が語るさまざまなテーマ、20年後の今も褪せていない社会の問題点をじっくりディスカッションすることができました。

第7回紅翔祭を終えて

紅翔祭実行委員長 桜井 れい子

今世紀最後の紅翔祭が終わりました。たった2日間のために3か月以上の準備期間を費やしてきました。でもその2日間は私にとってかけがえのない財産になりました。それはたくさんの仲間たちと共に紅翔祭を作り上げてきたからです。また、第6回まで作り上げてきた人たちの苦労のおかげでもあるでしょう。白紙の状態から何かを作り出すことは相当のエネルギーを要することだと思います。私たちにはまだ過去資料がありました。その資料をもとに仲間たちと当日に向けて準備を進めていくことができたのですから。

私は今回いろいろなことを学びました。例えば、話合いをするときには基になる内容を文章におこしてみるということです。当り前のことかもしれません。しかし私はそれを何度も忘れそうになりました。頭に入っているから大丈夫、と思っていてもいざ文章をおこしてみると穴がちらほら。その穴を埋めて臨んだ話し合いの場でもまだ不十分で付け足しがでてきてしまう。しかし、それこそが収穫なのです。収穫はわずかかもしれませんが話し合いは密度の高いものになります。そしてもう一つ、紅翔祭を通して見えたものそれは、仲間の大切さです。「チーム一丸となって」という言葉がありますがまさしくその通りでした。この「チーム」だからこそ今回の紅翔祭ができたと思います。また、この「チーム」と共に紅翔祭に関わって下さった多くの方々にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

INTERNET

10月18日

「インターネットでなぜ世界中が見られるの」

10月25日

「インターネットで探し当てよう」

11月1日

「インターネットが変わる、経営が変わる」

11月8日

「オンライン・ショッピングの将来性と問題点」

場所/新潟ユニゾンプラザ5階 時間/18:00~20:00

地域 交流活動

大学は、地域社会のニーズを的確に捉え、地域に貢献する存在になることが求められています。新潟国際情報大学でも開学以来講演会、公民館活動の支援など、地域との連携を深めてきました。今年も市民のための公開講座を開催するなど、積極的に地域交流活動を進め、その実績を積み重ねています。

市民のための公開講座

インターネットの新時代

今やインターネットに対する市民の関心の高さは相当なもの。そのため「インターネット」の基礎知識から最新動向までをわかりやすく講義する今回の公開講座には、大変多くの参加希望がありました。残念ながらすべての人が参加できるというわけにはいきませんでしたが(定員80名)、参加された皆さんは熱心に取り組み、本当に充実した公開講座となりました。

インターネット体験教室 授業成績優秀者

新潟国際情報大学 奨学生決まる

金口大教授

南北会談後

の北朝鮮調査団として

参

加

訪

問

し

た

の

は

日本

経

研

究

所

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

軟式野球部 東日本大会出場

軟式野球部は、新潟県秋季大会を別表の通り素晴らしい成績で全勝優勝しました。また、新潟県第1代表として、11月11日栃木県日光市(所野野球場)で開催された第21回東日本大学軟式野球選手権大会に出場しました。

初戦は全日本大会優勝の日体大を相手に善戦しましたが、残念ながら12-0で敗退しました。

我が新潟国際情報大学の名前を広くアピールし、部員の学生時代のいい思い出の一つとなったことでは大きな意義がありました。来年度は新潟県大会で勝ち進むことは言うまでもなく、全国の大会でも勝てるよう頑張ります。皆様の応援をお願いします。



11月18日(土)、第3回韓国フェスティバル(新潟市主催)の併催イベント「第3回韓国・朝鮮語スピーチコンテスト」が万代市民会館で開催されました。これは、本学、県立新潟女子短期大学、市民団体、新潟市など7団体で結成した実行委員会が主催するもので、広瀬貞三教員が実行委員長を務めました。今回は1部に、本学から権平俊明さん、佐藤信夫さん、松岡慎一さんいすれも情報文化学科2年、佐々木亮さん(研究生)の4名が出場しました。審査の結果、佐藤信夫さんが1部の特別賞を受賞しました。

第3回韓国・朝鮮語スピーチコンテストに参加

軟式野球部 2000年度戦績

新潟県秋季大会

- 4-1 薬科大
- 10-0 工業短大
- 9-0 造形大
- 4-0 経営大
- 8-5 新大歯学部
- 15-0 敬和
- 2-0 新大医学部
- 8-2 新大

第21回東日本大学軟式野球選手権大会

- 0-12 日本体育大学
- 1回戦敗退

ESS活動報告

私たちESSは昨年からHESS(A北信越英語会)に加盟し、年4回の大会を通して他大学との交流を交えながら英語力の向上を目指しています。

HESSには新潟大学、信州大学、金沢大学、富山大学、福井大学の5大国立大学と我がNU-ESが加盟しています。今年は6月にフレッシュマン・ディスカ

ンション、8月に夏の交歓会、10月にスピーチコンテ

ストが行われました。12月にはドラマ・コンテストが

福井大学の主催で予定されています。普段の活動と

しては映画上映会やネイティブの先生をお招きし

て週1回の英会話教室、学内でのTOEIC模擬試験の主催などの活動を行っています。ESSでは

これらの活動を通して部員一人ひとりがそれぞれの

レベルに合わせながら英語を学んでいます。現在、HESSAの一大イベントであるドラマ・コンテスト

に向けて日々練習を重ねてあります。強豪ぞろい

ですが、今年は上位入賞目指して頑張ります。

HBA資格認定試験開催

11月12日(日)、新潟国際情報大学において第2回HBA資格認定試験が行われました。

この試験は業務遂行に際し、情報技術を駆使し、いかに生産性向上に寄与できるかその能力を認定するものです。

初の試験実施でしたが、本学でも約30名受験しました。

2000年度 TOEIC特別試験実施

今年も11月25日(土)TOEIC特別試験が実施されました。

本学は試験会場になっているため一般受験料6,615円のところ、4,050円で受験できます。

今回約60名の学生が受験しました。TOEICは多くの企業で英語能力評価に用いられています。毎年実施されていますので、英語力の向上を目指す学生はぜひ実力を試してみましょう。

バスケットボール部

私たちバスケットボール部は年を重ねることに強化されています。現在は、とても熱心に指導してくださる監督もいて活気あふれる練習を行っています。

昨年春の新潟市民大会ではリーグ優勝することができました。この大会では部員のほとんどが出場し、チームワークの向上をはかることもできました。大きな大会ではありませんでしたが、勝ったことで自信がつき、一層練習に力が入ってきたようです。

これからもたくさんの大会に出場すると思いますが、練習量を増やし、良い成績を残していくと思います。

陸上競技部

新潟国際情報大学の陸上競技部は、今年で創部7年目を迎えました。陸上競技部の最大の目標はインター・カレッジへの出場ですが、その大きな目標実現のため、藤瀬先生と計良コーチの下、日々トレーニングに励んでいます。

また、スポーツ推薦の導入により陸上競技部全体としてのレベルがアップし、仲間も良コーチの下、日々トレーニングに励んでいます。

技部全体としてのレベルがアップし、仲間も良コーチの下、日々トレーニングに励を受け、充実した環境の中でトレーニングを行っています。

私たちバドミントン部は、「時には厳しく、時には楽しく」をモットーに、優秀な監督とコーチの指導の下、日々練習に励んでいます。つい先日に行われた北信越大学の大会では以前から目標であった、部リーグでの優勝、部リーグへの昇格を果たすことができました。現在は来春に開かれます。

私たち、とにかくバドミントンが好きで、やる気のある人が集めた部活動です。

部リーグで勝つための練習をしています。

私たちバドミントンが好きで、やる気のある人が集めた部活動です。

バドミントン部

私たちバドミントン部は、「時には厳しく、時には楽しく」をモットーに、優秀な監督とコーチの指導の下、日々練習に励んでいます。つい先日に行われた北信越大学の大会では以前から目標であった、部リーグでの優勝、部リーグへの昇格を果たすことができました。現在は来春に開かれます。

また、スポーツ推薦の導入により陸上競技部全体としてのレベルがアップし、仲間も良コーチの下、日々トレーニングに励受け、充実した環境の中でトレーニングを行っています。

技部全体としてのレベルがアップし、仲間も良コーチの下、日々トレーニングに励を受け、充実した環境の中でトレーニングを行っています。

バドミントン部 平成12年度試合結果

第49回中部大学第48回学生バドミントン選手権大会 平成12年5月15日~5月20日

男子団体戦 新潟国際情報大学 0-3 名城大学

男子個人戦シングルス

春田 正博 1回戦 キケン 舟川 知晃(中京大)

2回戦 0-2 越前 直哉(金沢学院大)

佐藤 靖洋 1回戦 2-1 岡本 俊(新潟大)

2回戦 0-2 相井 健児(松阪大)

田辺 衛 1回戦 1-2 河井 大輔(中京大)

男子個人戦ダブルス

春田・佐藤 1回戦 0-2 黒明・岡本(新潟大)

女子個人戦シングルス

外山 楓 1回戦 0-2 山下 朱美(東海女子大)

岡 香織 1回戦 2-1 大村 真知(愛知大)

2回戦 0-2 伏屋 朱美(東海女子大)

女子個人戦ダブルス

岡・外山 1回戦 0-2 水野・岸(愛知県徳大)

第45回北信越学生バドミントン選手権大会 平成12年8月2日~8月5日

男子個人戦シングルス

佐藤 靖洋 1回戦 2-0 国田 良徳(金沢工業大)

2回戦 0-2 越前 直哉(金沢学院大)

春田 正博 1回戦 0-2 山本 淀(金沢学院大)

山本 功司 1回戦 0-2 原 大介(金沢工業大)

田辺 衛 1回戦 0-2 鹿野 良(福井大)

梅津 正幸 1回戦 0-2 山崎 岳史(金沢工業大)

男子個人戦ダブルス

春田・山本 1回戦 0-2 越前・村城(金沢学院大)

佐藤・田辺 1回戦 0-2 加藤・野坂(富山大)

女子個人戦シングルス

柳 菜穂子 1回戦 0-2 木下 公美(金沢大)

第44回北信越大学バドミントン選手権大会 平成12年11月9日~11月11日

男子団体戦 部リーグ優勝 部リーグ昇格

(メンバー:梅津 正幸・朝妻 裕輔・春田 正博・中村 浩樹・山本 功司・佐藤 靖洋・田辺 衛)

新潟国際情報大学 4-2 金沢経済大

4-0 福井県立大

4-0 高岡法科大

4-0 富山国際大

部 部入れ替え戦 4-0 長野大

女子団体戦 部リーグ優勝 部リーグ昇格

(メンバー:柳 菜穂子・山本 英美・岡 香織・外山 楓)

新潟国際情報大学 3-0 上田女子短期大

3-1 新潟産業大

3-1 福井県立大

3-1 敦賀短期大

3-1 長野県短期大

西川時代激まつり演記

新潟国際情報大学における伝統

情報文化学科3年

今井 誠

毎年十月上旬に西蒲原郡西川町で行われる「越後時代激まつり」。このまつりは江戸時代に越後曾根の農民が、江戸幕府にその年に収穫された米を献上するために代官献上米行列を行っていたといふ時代背景をもとに昔風の屋台や服装で江戸情緒を再現したもので、まつり当日は他に様々な催しも行われ賑わいます。私が参加した代官献上米行列は、般公募の60名が参加し、越後善光寺を出発し、本町通りを練り歩くというものです。代官をはじめ、献上米を警護する武士や米俵を積んだ大車を引く農民などの本格的な衣装とメー・キャップは江戸時代に舞い戻ったかのような印象を受け、参加者は役になりきり、まつりを楽しんでいます。

今年も昨年の実績を貰われて(?)先導役をさせていただくことになりました。先導役とは、行列の先頭に立ち、「代官様のお通りじゃ〜!」と声をあげながら歩くという役なのです。先にも書きましたがこの役も二度目となり、リラックスして臨むことができました。

また、今年はゲストとしてBSラジオでもお馴染みの大倉修吾さんが参加され、代官役を演じられました。昨年は吉本興業の桂三枝師匠が代官役を演じられましたが、今年の代官役はさらに軽快且つ

お声をいただくようになりました。このことは新潟国際情報大学が地域交流を深めていくという点において非常に喜ばしいことだと考えています。

さて、毎年気になる配役のことなのですが、一年目は手付役、二年目は先導役で参加させていただき、今年も昨年の実績を貰われて(?)先導役をさせていただくことになりました。先導役とは、行列の先頭に立ち、「代官様のお通りじゃ〜!」と声をあげながら歩くという役なのです。先にも書きましたがこの役も二度目となり、リラックスして臨むことができました。

大学に入学して以来毎年まつりに参加しているということが、今や自分の中で伝統となっているようを感じられてなりません。来年もぜひ参加させていただきたいと考えています。また、私が卒業した後も新潟国際情報大の学生が途切れることなく毎年参加することで地域交流を深め、さらには大学の中にも息づく伝統として続けてもらえた幸いです。

新潟国際情報大学のホームページは、これまでその最大の利用者である本学学生の利用の便を図ることを最大の目的として改訂を続けてきました。今回は学内利用者の便を良くするとともに、対外的広報機能の拡充を目指しています。外に向けた広報機能をもたらすため、高校生の皆さん、在校生、在校生の父母の皆さん、企業の皆さんを主な利用者と想定しました。従て、大学の案内、入試・就職の情報とともにカリキュラムや講義概要などを取り入れることにしています。一方、学内の利用の便向上させ、一般の利用者のリピート利用と滞在時間の延長を図るためにリンク集を充実させることにしました。

さらに、ホームページの魅力を大きくするために、新しい情報を常に提供できる必要があると考えられるので、トピックスの「トナー」を別途設け、そこで新しい情報と新しい画像データを提供したいと考えています。また、英語・ロシア語・中国語・韓国語および日本語のページの作成も計画をしてします。今年中に新しいページに更新できるよう、作業中な



出発前の表情



行列中の真剣な顔



みんなで記念撮影

源

編集後記に代えて

源

広報委員長 高木 義和